科目名	土木・造園演習２							年度	2025
英語科目名	Civil engineering and landscaping exercise ２							学期	後期
学科・学年	土木・造園科 ２年次	必／選	必	時間数	120	単位数	4	種別※	実習
担当教員	松浦　弦三郎	教員の実務経験		有	実務経験の職種		施工管理		

【科目の目的】

生態系や環境問題に関する理解を深め、土木・造園における環境管理と環境アセスメントの視点を身につけることを目指します。

【科目の概要】

土木・造園の現場作業を実習を通じて体験し、将来の施工管理に役立てます。

【到達目標】

土木・造園の実務に必要な知識・技術を身につける。

【授業の注意点】

実習には危険を伴う作業も含まれるため、レクチャー中および実習中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。服装は作業に適したものであること（サンダル、短パン等は認めない）。ヘルメットや手袋の着用など、教員の指示に従うこと。着替えは始業前に済ませておくこと。授業時間数の４分の３以上出席しない者は単位を認定しない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル２ あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	環境管理の実施方法を具体的に計画し、実践的な視点を持つ		基本的な環境問題の知識を理解し対策を考えられる		環境問題について簡単な知識を理解する
到達目標 B	環境管理の実施方法を具体的に計画し、実践的な視点を持つ		基本的な環境管理手法を理解できる		環境管理の基礎的な考え方を学ぶ
到達目標 C	環境アセスメントの各段階を理解し、独自の分析ができる		基本的な環境アセスメントの内容を理解する		簡単な環境評価ができる
到達目標 D	環境配慮の観点から工事の計画・実施方法を提案できる		工事における環境配慮の基本的な考え方を理解する		環境配慮の視点について学ぶ
到達目標 E	環境にやさしい造園設計の具体案を作成できる		環境に配慮した設計の基本を理解する		簡単な造園設計の知識を理解する

【教科書】

特になし

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

授業への取り組み、課題の到達度等を総合的に評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	土木・造園演習２	年度	2025
英語表記	Civil engineering and landscaping exercise ２	学期	後期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1～5	環境アセスメントのプロセス	環境アセスメントの各ステップとその実際の適用方法を学ぶ	1	環境アセスメントの目的と概要	環境アセスメントのプロセスを理解する	2	
			2	各ステップの詳細な解説	各ステップの役割を把握する		
			3	土木・造園での適用事例	実例を通じた理解の深まり		
6～10	土木工事における環境配慮の視点	土木工事において必要な環境配慮の具体的な方法を学ぶ	1	環境配慮の基本的な考え方	環境配慮の基本理念を理解する	2	
			2	土木工事における環境配慮の具体策	工事現場での環境対応を学ぶ		
			3	実際の工事での応用事例	応用力の向上		
11～15	環境にやさしい造園設計	環境配慮を取り入れた造園設計の実践的な考え方を学ぶ	1	環境にやさしい設計の基本概念	環境に配慮した設計を理解する	2	
			2	造園設計における環境配慮の方法	実例から具体的な設計方法を学ぶ		
			3	実際の設計例から学ぶポイント	環境配慮の考えをデザインに反映できる		

評価方法：1.小テスト、3.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等